

# 高齢者の金融取引における判断能力評価アプリの開発

## 教授・成本迅からのメッセージ

高齢化に伴い、精神医学や神経心理学が社会に対して貢献できる領域も広がりを見せています。



## キーワード

意思決定能力、金融取引、高齢者、認知機能

## 研究の概要

意思決定能力の評価理論から、顧客が当該契約に必要な金融取引能力を有していることを客観的かつ直接的に確認することができるアプリケーションの開発を目指しています。

## 研究内容

### 1) 金融取引能力評価スケールの開発

金融取引を行う際に必要となる判断能力を医療同意能力の4要素モデルをもとに評価する半構造化面接法（金融取引能力評価スケール）を開発しました。臨床研究により、本スケールと認知機能、とりわけ、論理的思考と実行機能、記憶の関連が示唆されました。個別の金融商品に適用できるように内容を調整し、金融機関での実証実験に移行する予定です。

### 2) 能力評価アプリの開発

金融取引能力評価スケールをもとに意思決定能力を自動評価するシステムを開発しています。本技術については国内特許を取得しており（特許番号：7116515／意思決定能力評価装置、システム、及びプログラム）、PCT出願中です。



理解：治療内容の理解  
認識：疾患に対する認識  
論理的思考：治療選択の理由  
選択の表明：意思表示の一貫性



理解：金融商品の内容の理解  
認識：取引に対する認識  
論理的思考：商品選択の理由  
選択の表明：意思表示の一貫性



※本研究は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の助成を受けています。

## 今後の展望

開発したアプリを各金融機関へ普及させ、幅広い金融商品に展開することで、現在は年齢一律（75歳以上）で制限されている金融取引を、能力に応じて年齢に関わらず可能にしたいと考えています。

